

脊柱管狭窄症について

脊柱管狭窄症とは、脊柱管という神経の通り道が加齢に伴いせまくなって神経が圧迫され、さまざまな症状が起こる疾患です。

代表的な症状は、腰痛と足のしびれや痛みです。運動障害や感覚障害が現れることもあります。間欠跛行と呼ばれる特徴的な症状があります。これは、歩いているうちに腰から脚にかけてのしびれや痛みが強くなって歩けなくなり、しばらく休むとまた歩けるようになるといった症状です。この間欠跛行は血行障害でも起こるため、正しい診断が必要です。

治療は、薬物療法、神経ブロック、物理療法などの保存療法が行われます。これらで、十分な効果が得られない場合には、手術療法が行われます。

整形外科での正しい診断と正しい治療を行うことにより、不快な症状に別れを告げましょう。